

⑨大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：
大原美術館（（公財）大原美術館）
文化観光推進事業者：
（公社）倉敷観光コンベンションビューロー、倉敷商工会議所、
語り座 大原本邸

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- ・外国人来訪者満足度
2019年 85%→2024年 95%（+10%）
※6段階の満足度のうち、レベル4以上の回答割合。
- ・外国人来訪者数
2019年 13,000人→2024年 15,000千人（約1.15倍）
※10年後（2029年）には25,000千人（約2.2倍）
- ・観光型宿泊施設宿泊者からの入館者割合
2019年 5.1%→2024年 8%（+2.9%）
- ・飲食店、土産物店等との連携店数
2019年 40店→2024年 100店（約2.5倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>**
 - ・海外富裕層向け特別ツアーの実施のための通訳ガイド養成
- <2.文化についての理解促進>**
 - ・「美術講座」「ギャラリーツアー」といった鑑賞支援プログラムの対象を外国人にも拡大。
- <3.文化観光に関する利便の増進>**
 - ・館内のWi-Fi整備やバリアフリー化等受入環境の整備
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>**
 - ・観光施設、宿泊施設、旅行業者等と連携し、美術館と周辺の歴史的建造物とを組み合わせさせたツアー等の商品造成
- <5.国内外への宣伝>**
 - ・宿泊施設や観光施設と連携し大都市圏での商談会等に参加
- <6.施設又は設備の整備>**
 - ・旧銀行の建物を美術館の新館として改修

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

1,000万円

計画区域

